

基本目標	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について		地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△	地方創生に効果があった		地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に効果があった」と想定した場合 施策「公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているが、KPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>公共施設の再配置については、進捗状況が見えてこないことから、長期的なビジョンに基づく管理がされているのか疑問がある。新庁舎整備も含め、取組に対する町民理解を得るためには、これまでの手法の有効性を再度確認することが必要である。また、計画推進には、事業に携わる職員の計画的な人的配置も必要であると考え。</p> <p>KPI「公共施設の総延床面積」は、単に削減を議論するのではなく、ニーズや機能も含めて総合的に判断する必要がある。また、施策に設定されたKPIが限定的であるため、進捗を把握するためにも、他のKPIも設定することが望ましい。</p>			



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	1	地方創生に相当程度効果があった
	6	地方創生に効果があった	0	地方創生に対して効果がなかった
意見①	<p>都市部→自然環境へのシフトが始まっている。候補地として認知させる為には継続して何かを発信しつづけることが大事！これまでやってきたことに価値がある。あえて“湘南”二宮をうたうなら、湘南エリアの他市町村と組んだPR戦略が良いと思う。座って通勤できて車のアクセスも良くて割安で生活したいなら湘南エリアでNo1</p>			
意見②	<p>「新庁舎整備について、さまざまな手法により」というさまざまな手法、というものが気になる。これまでも丁寧な説明をされてきたように思うので、であるならば手法の有効性をここで再確認すべきと思う。つまり町民の理解を得るために有効な手法か否か再検討していくことが肝要と思われる。</p> <p>KPI「公共施設の総延べ床面積」が適切か、疑問が残る。単に減らしていくことを議論するのではなく、その施設が新しいか、古いか、またニーズはどうなのか、といった点などが議論されるべきで、減らすこと自体がプラスになるということではないように思われる。</p>			
意見③	<p>公共施設については様々な課題が山積みのものであり、あまり前進しているとは言えないようである。またKPIからこの施策を評価することも難しい。③が妥当。</p>			
意見④	<p>施策とKPIの整合性が感じられない。公有地の有効活用について例えば東大跡地に関して言えば、OPEN DAYの来場者やSNSの閲覧者数、フォロワー数などもっと直接的で具体的な数字もある。KPIの見直しが必要ではないか。公共施設に関しては、修理など場当たりの対応が目につく。もっと長期的なビジョンをもって計画的な維持管理が必要。また長期的な取り組みという意味では、職員の入れ替わりで事業の進捗が後退することも見受けられる。プロジェクトの進行期間は職員の異動を配慮するなどできないか。</p>			
意見⑤	<p>公共施設の再配置・統廃合が進んでいるとは思われない。KPIの基準値の見直しも必要と思われる。駅前町民会館の取り壊しはあったが今後の総合的な計画がないのではないかと。庁舎移転は空転し白紙撤回となった。総合的な中長期計画をしっかりと立案してほしい。</p>			

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について	△	地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△	地方創生に効果があった		地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「<u>地方創生に効果があった</u>」と想定した場合 <u>施策「誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</u> 地域の通いの場など高齢者施策において、横断的な連携による取り組みが進んでいることは評価ができる。 健康相談や介護予防の場づくりは大切であるため、未病センターや地域の通いの場に参加されないなどの関心が低い方へのアプローチも非常に重要である。 医療従事者不足等、町だけでは簡単に解消できない課題を抱えているが、近隣との連携により補い合いながら、コロナ禍も含め、生活弱者が誰一人取り残されないよう、町の規模ならではのきめ細かい支援となるように期待する。</p>			



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	2	地方創生に相当程度効果があった
	5	地方創生に効果があった	0	地方創生に対して効果がなかった
意見①	部門横断で連携が進んでいるような印象を持った。高齢者が日常的に生活しやすいインフラ整備をさらに期待している。			
意見②	健康相談や介護予防の場づくりは大切と思われる。 医療従事者不足等は簡単に解消されるものではないので、近隣市町村との医療機関連携をどのように構築していくかが今後重要ではないか。 コロナ禍において社会的弱者が取り残されないための支援も検討すべき			
意見③	KPIからは、評価が難しい。各地域で行われている「通いの場」については、私も関わっており、お世話をしている。参加している人は健康意識は高いが、その他多くの人たちへの施策の周知・健康意識の向上が必要。			
意見④	直接的な関りがないので印象でしかないが、高齢者への対策は手厚いようなイメージがある。一方で障がい者などの弱者への対策はまだ手薄な印象。			
意見⑤	通いの場は地域との活動の連携で、活用している人数も増え期待されている。未病センターは更なる広報活動が必要と思われる。			
意見⑥	コロナ禍の中では、未病センターの運用にもご苦労があると思うが、住民一人一人に目が届く基礎自治体ならではのきめ細やかな取組みを継続的に展開していくことで、高齢者の健康寿命を延ばし、未病コンセプトを先取りしたとも言える「長寿の里」を標榜する町に相応しい地域づくりに努めていただきたい。			

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	地域コミュニティの醸成支援

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について	△	地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△	地方創生に効果があった		地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に効果があった」と想定した場合 <u>施策「地域コミュニティの醸成支援」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</u> 各地区の実情把握や一色小学校区地域再生協議会の活動など、取り組みが前進していることは評価ができる。 今後、各地区の実情結果を踏まえ、優先度や重要度を加味しながら、活用に向け次の段階へと移行していくことが重要である。 一色小学校区地域再生協議会の活動の幅は広がっているが、より良い活動につなげるために、今後、地区と行政との横断的な連携を強化する必要がある。また、協議会の取り組みが、地域への関心の高まりや、他の地域・町民の活発な活動へと波及するような展開になることが望ましい。 今後、これまでの取組をベースにし、新型コロナウイルス等により生まれる新たなニーズも捉えつつ、持続可能な地域づくりに取り組まれることを期待する。</p>			



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	1	地方創生に相当程度効果があった
	6	地方創生に効果があった	0	地方創生に対して効果がなかった
意見①	ハザードマップ(広域版)の刷新など防災意識の醸成につながっていると思う。			
意見②	各地区の実情を洗い出し、一覧にまとめられたのは素晴らしいが、次の段階として取りまとめから活用へ、優先度と重要度を加味しながら、視点を移していく必要があると思う。町民評価等の聴取については、コロナ禍では難しいかと思うがこの災禍の中で新しいニーズも出てくるのかなと推察される。			
意見③	KPIのアンケートから、住民の地域コミュニティに対するどのような評価がわかるのかははっきりしないが、地域に対する関心が低いことはわかる。③が妥当。私たちがのように地域活動をしている者にとってそれはとてもよくわかる。一色小学校区地域再生協議会は、多くの予算が割り当てられており、講演やコンサート・様々な活動が行われ、チラシ・ポスターなど多くが町の掲示板に貼られているが、その活動がその他の地域まで広がることは無さそうである。			
意見④	一色地区に関して言えば、様々な分野に渡り活動を広げている。地域・町民の活動が活発になるのは歓迎すべきもの。今後のより良い活動のために、町民の、また役場内の課を横断した横のつながりと連携が必要。			
意見⑤	地区長連絡協議会において各地区の実情が一覧でまとめられた。これをベースに持続可能な地域づくりを推進してほしい。			

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	災害や犯罪に備える地域づくり

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について	△	地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△	地方創生に効果があった		地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に効果があった」と想定した場合 施策「災害や犯罪に備える地域づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>地区防災マニュアルの策定状況や駅周辺環境など、取り組みが進んでいることは評価ができる。</p> <p>町民の防災意識は高まりつつあるものの、まだまだ温度差は大きいと考える。全国的に多発する大規模災害を踏まえると、防災意識向上に資する取り組みを着実に進めることが重要である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症を含め、今後、様々な災害危機が迫ることも想定されるため、必要に応じた対応をスピード感を持って取り組む必要がある。</p> <p>安心・安全は、暮らしやすい魅力的なまちづくりを進めるうえで非常に重要であるため、今後とも工夫をしながら進めることを期待する。</p>			



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	1	地方創生に相当程度効果があった
	5	地方創生に効果があった	0	地方創生に対して効果がなかった
意見①	駅周辺の整備が進んでいる印象がある。見通しが良い、広場が確保されている。これらは犯罪防止に大事だと思う。			
意見②	コロナ下ではありますが、地域防災力はこれとは別に力を注がねばならないと思う。このような時期でも防災指導員育成に力を入れていることは高く評価できると思われる。 ※「評価シート」のなかの「自転車駐車場」というのが気になりました。自転車駐輪場???			
意見③	KPIも数値は上がっており、防災に対する意識の向上や防災対策を進めていられるのはわかる。ただ二宮の場合、災害の起こりにくい町であり住民の防災意識がなかなか高まらない。しかし、昨今の他の地方での災害を見て、さらに意識向上に向けた取り組みをする必要がある。			
意見④	評価は②よりの③。地区防災マニュアルの策定についての進捗は評価される。近年の国内で増加する自然災害によって、町民の意識も高まっている。コロナ対策を盛り込んだ内容をスピーディーに改訂して欲しい。			
意見⑤	町民の防災意識は高まったが、温度差がまだまだある。それを埋める地域に対する働きかけを行政として知恵を出していく必要がある。			
意見⑥	新型コロナウイルス対応に苦慮されていることと思うが、安心・安全は、暮らしやすい魅力的なまちづくりを進めるうえで非常に重要な視点であると思うので、今後とも工夫をしながら取組みを進めていただきたい。			

補足 意見②「自転車駐車場」については、条例で定められた名称です。

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	「にのみやLife」の提案と発信

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について		△	地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△		地方創生に効果があった	△	地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に効果があった」と想定した場合 施策「「にのみやLife」の提案と発信」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>「にのみやLife」のHP閲覧数が減少しているため、原因をしっかりと分析し、効果的な対策を打ち出す必要がある。なお、分析時は、転入者（転入希望者）が求める町の良さと町の取り組みの方向性が合致しているのかという視点も、改めて意識する必要がある。</p> <p>空家対策等の取り組みは、防犯・防災・移住などにも関連するため、横断的な連携により効果的に事業を推進するとともに、情報発信を強化する必要がある。</p> <p>コロナ禍で加速する地方移住の流れにより変化の兆しが見えてきているため、そのニーズを的確に捉え、今後、町としての取り組みを強く打ち出すことを期待する。</p>				



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	1	地方創生に相当程度効果があった
	5	地方創生に効果があった	1	地方創生に対して効果がなかった
意見①	短期的にはKPI実績値が下がっていることが気になる。菜の花ウォッチングの参加者へのアプローチを工夫しては？（単発企画よりも相乗効果をねらうべき）			
意見②	プロモーションプロジェクトの閲覧数が一時的に伸びたとのことで、この増加の理由を究明し、コロナ時代の移住に向けた発信などを加速させると良いのではないかと？			
意見③	KPIを基にするならば、③が妥当。二宮町のHPを見てもらうために二宮町に興味を持ってもらうための更なる施策が必要か。 空き家対策については、難しい部分が多いが、防犯・防災・移住者のためにも、更に施策を考える必要がある。			
意見④	にのみやLifeのHPはとてもいい。転入者は増えているが、転入者が見ている町の良さと町行政が見ている視点が合致しているのかわからない。新しいライフスタイルの風は吹いていると思うが、住環境として町内はただ建物が老朽化していつている印象。リフォームの助成など施策とリンクしていったら魅力がもっとUPするのでは。			
意見⑤	「にのみやLife」プロモーションプロジェクト、空き家活用定住実現プロジェクト、三代同居・近居プロジェクト、の三つのプロジェクト自体の存在を町民に知らせる活動を進める必要があると思われる。			
意見⑥	現在のホームページの閲覧数は決して十分であるとは思えない。閲覧数が伸びない原因を早急に究明し、効果の薄い方策を継続するのではなく、速やかにより効果のある代替策を講じる必要があると考える。			

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について	△	地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△	地方創生に効果があった	△	地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に効果があった」と想定した場合 施策「二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>今後、人口減少等により財政的な制限もあるため、ソフト事業に軸足を移し、効果的に事業を推進することが求められる。ラディアンや図書館は、活用事例を紹介するなどの具体策を提案することで、利用率向上につなげるとともに、町民等に取り組みを認知してもらえるよう効果的な広報活動も併せて進める必要がある。</p> <p>イベント等の開催については、団体の役員等の負担も見受けられるため、持続可能な事業とするためには、統廃合も含め、イベントのあり方について全体的に見直す必要がある。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、事業を中止せざるを得ない状況もあるが、様々な状況を想定し、臨機応変に対応できる方向性を打ち出していくことも重要である。</p>			



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	0	地方創生に相当程度効果があった
	5	地方創生に効果があった	1	地方創生に対して効果がなかった
意見①	コロナ禍で実行できなかった企画も多かったかと思えます。正直、評価しづらい。			
意見②	コロナ禍でできることを臨機応変に検討・実施できる方向性が欲しい KPI「文化・芸術活動に対する評価」が何を示しているか不明			
意見③	R1年度は、新型コロナウイルスの影響はまだそれほど大きくはなかったのではないかと思います。 KPIからは③が妥当。 ラディアンの更なる利用を望む。立派な施設なので、様々な活用例などを提示して利用を促すなどするとどうなのか。 図書館を利用しようという、必要性や環境が町民にないのだろうか。図書館に行くきっかけがあるとよいのだろうか。			
意見④	様々な団体、活動があり参加する側には良いのだが、どこも役員の選出など組織として活動を継続することに難しさがある。統合するなど各団体でなく町内全体を見渡した見直しが必要。			
意見⑤	町民一人ひとりの「町づくりの力」を更に発揮できる事業を推進して、それを町民に認知してもらえる広報活動を行う必要があると思われる。それによってこのプロジェクトが更に推進される。			
意見⑥	財政的な面も含めて様々な制約もある中で目標を達成するためには、ソフト事業に軸足を移していくことがより効果的であると考えます。			

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について		地方創生に非常に効果的であった	△ 地方創生に相当程度効果があった
	△ 地方創生に効果があった		地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に相当程度効果があった」と想定した場合 施策「特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>町内5校すべてでコミュニティ・スクールが立ち上がり、情報の共有化が進められていることは評価ができる。</p> <p>今後のコミュニティ・スクールの運営において、いかに地域力を取りいれられるかが重要となるため、必要な人材や予算の確保も含め、今後のあり方を検討していく必要がある。また、各コミュニティ・スクールの地域の違いはあるものの、共通する課題もあるため、情報共有を図り、効率的な運営につなげることが重要である。</p> <p>教育支援・相談は、専門的な職員の配置を国や県等に要望しつつも、町として支援できるものはしっかりと推し進める必要がある。また、支援には、学校（専門職含む）、児童生徒、保護者等との連携が不可欠なことから、支援体制及び情報共有を強化するとともに、支援を必要とする児童生徒の保護者に、支援情報が伝わるように周知を促進する必要がある。</p>		



委員の個別意見

事業効果について	0 地方創生に非常に効果的であった	6 地方創生に相当程度効果があった
	1 地方創生に効果があった	0 地方創生に対して効果がなかった
意見①	子供たちとのコミュニケーションの量が増えたと理解した。	
意見②	すべての学校がコミュニティスクールになったことは大いに評価できる。専門的な職員の配置を引き続き国や県等に要望しつつも、これだけに頼るのではなく町の中で誰が担い手になるのかを決めて、きめ細かな支援をさらに促進していくことで町の魅力が増えると思われる。	
意見③	子どもたちの生きる力＝KPI「これからも運動を続けたいと思う」がよくわからない。コミュニティ・スクールについては、準備段階から学校運営協議会のメンバーだったので、R1年度は前進だったのかと思う。しかし、これからどのようにすすめるか協議会の委員が困ってしまうのではないかと。特に校長先生が。小中学校に、教育相談員・支援教育補助員・ソーシャルワーカーなどが入って、様々な子どもや保護者の対応をしていることなどからも②が妥当。	
意見④	活動が活発化していてよい流れとなっている。人材の確保が難しい地域があり、地域の格差が発生していて、情報共有・ヴィジョンの共有が求められる。教育相談や支援は個人情報の問題もあるが、児童・保護者・学校の連携と情報共有が欠かせない。また保護者にどんな受け皿があるのかの周知が必要。	
意見⑤	町内5校がコミュニティ・スクールとなり、相互の情報の共有化も進んでいるようである。地域の力を活用した学校運営ができるほど、「特色ある学校教育を推進していて、子ども達の生きる力が育まれている二宮町」という評価が高まる。予算が必要な人材確保は一つの要素ではあるが、学校運営協議会自体が活動しやすく、必要な予算措置をしていくことが重要である。必要な人材を地域に求めることも試すべきである。課題のとらえ方の方向性を変える必要がある。	

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援と環境づくり

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について	△	地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△	地方創生に効果があった		地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に相当程度効果があった」と想定した場合 施策「子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援と環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>KPIは目標値を達成しなかったものの、学童や保育所などの取り組みの進展は確認できるため、一定の評価ができる。ただし、KPIの数値や取り組みの課題を多角的に分析し、課題に対する明確な解決策を打ち出す必要がある。</p> <p>子育て環境の充実が若い世代への有効な施策になるため、関係者との連携・協力により支援体制を強化し、切れ目のない支援を継続する必要がある。また、各取組状況を目に見える形で情報発信していくことも重要である。</p>			



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	4	地方創生に相当程度効果があった
	2	地方創生に効果があった	0	地方創生に対して効果がなかった
意見①	母子のコミュニティ機会を増やす取組が継続されることを期待する。			
意見②	年少人口減少のなかでも取り組みの加速に高く評価できる。 切れ目ない支援を継続してほしい。 KPI「子育てに対する町民評価」がR1に0から0.25に増加している理由が不明。 KPI「待機児童」について、単なる数字だけではなく、希望する園に入れたか、希望の動向など、多面的に見ないと見えにくい部分があるように思われる。			
意見③	KPI「町民の評価」は芳しくない。「年少人口の減少」については大多数の市町村は同様なのではないか。私の地域では増えているようだ。 「待機児童」は2人になってしまった。 様々な施策は行われているのだが、評価としては③が妥当。			
意見④	評価は③よりの②。学童や保育園など目に見える形での進展があったので一定の評価になる。しかし課題はある。教育相談や支援は個人情報の問題もあるが、児童・保護者・学校の連携と情報共有が欠かせない。受け皿の周知も大切。			
意見⑤	成果は十分に出ているとの説明である。課題の改善点が人の手配とその配置にあるが、それを達成する為の欠落要因が、予算不足なのか人材手配の情報不足なのかが不明である。			
意見⑥	若年世代に「住みやすさ」を実感していただくためには、子育て環境が良好であることが非常に重要であると思う。引き続ききめ細やかな対応に努めていただくとともに、取組状況を目に見える形で発信していくことも重要であると考えている。			

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育てと仕事の両立の推進

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について	△	地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△	地方創生に効果があった	△	地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に効果があった」と想定した場合 施策「子育てと仕事の両立の推進」について、目標達成に向けた進捗は、KPIの設定に課題があり、施策の進捗をこのKPIだけで判断することは困難である。</p> <p>本施策は、KPIの設定や進捗が芳しくないことも課題ではあるが、前提となる基本目標と施策の関連性が非常に分かりづらく、取り組みの設定が適切とは言い難い。</p> <p>今一度原点に立ち返り、しっかりと子育て世代のニーズを分析したうえで、効果的な取り組みとなるよう見直す必要がある。</p>			



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	0	地方創生に相当程度効果があった
	4	地方創生に効果があった	2	地方創生に対して効果がなかった
意見①	男性育児機会に関する他の市町村との情報交流の場が出来ると良いのでは？			
意見②	そもそも基本目標と施策が合致していないのではないかと 「働く女性にスポットを当てた・・・フォーラム」とあるが、むしろ男性の意識改革を促す方が良いのではないかと。			
意見③	KPI「男性の家事・育児時間」のアンケートからは、実態がわかりにくいですが、目標には達していない。「役場男性職員の育児休業取得」も0。目標50%とは、何人なのかかわかるとイメージが浮かぶのだが。 ③が妥当。			
意見④	待機児童の問題は数だけでなく質も問われる。			
意見⑤	女性の就業率、男性の家事・育児時間、育児休業取得割合・・・KPIの確認、設定の難しさを感じる。			

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について	△	地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△	地方創生に効果があった		地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に相当程度効果があった」と想定した場合 施策「地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>起業・開業件数の増加などの成果が見られ、商工会等とともに創業支援（相談セミナー、窓口等）を着実に推進していることは評価ができる。 すぐに成果が上がりにくい分野ではあるが、商工会等と連携をさらに深め、まずは成果が出始めている「仕事を生み出す」という基盤づくりに注力し、着実に推進していくことが重要である。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により大変厳しい状況ではあるが、活気づき始めた兆しを途切れさせることなく、活力ある魅力あるまちにつなげるために、時代に合った支援策を取り入れながら、継続的な伴走支援に取り組むことを期待する。</p>			



委員の個別意見

事業効果について	2	地方創生に非常に効果的であった	2	地方創生に相当程度効果があった
	3	地方創生に効果があった	0	地方創生に対して効果がなかった
意見①	なかなかすぐには成果が上がらないと思う。マッチングアプリや移住支援サイトなども活用しては？			
意見②	<p>開業が増えたようですが、どのような業種なのか？そこから見えることはあるか？ 創業支援に手厚いのは大変良いことである。 女性の創業支援などはあるのか？ この施策では「仕事を生み出し」はある程度うまくいっていると思うが、「資金循環」まではなかなか難しいのではないかと思う。まずは大上段に構えずに、仕事を生み出すことに注力するのもアリかと思う。 評価を連携させることも検討してもよいように思う。→「町内で仕事ができる」×「子育て」など</p>			
意見③	<p>創業塾の受講者が一定数あった。町内の起業開業が9/37。 ②が妥当。二宮で多くの起業開業は望めないだろう。</p>			
意見④	この分野に詳しいわけではないが、町内で新しいお店のオープンなど活気づいている印象は感じている。			
意見⑤	<p>創業相談セミナーを継続的に実施し、受講者数も確保出来ている。創業相談窓口の設置や創業支援事業も実施されている。その効率を上げるために、創業支援事業の更なる商工会との情報の共有化、活動の連動を計る必要がある。地域の活性化は地域経済の活性化が重要であり、そのことが活力のある住みたい街へ更に前進出来る条件となる。その為にも創業希望者、その後の創業の支援のための政策の深堀を目指すべきと考える。</p>			
意見⑤	事業の数が1件のみ。事業規模が記されていないが、規模が大きくなければ、ほぼ効果はないのでは？			
意見⑤	商工会を始めとして伴走型の創業支援に奔走する関係機関の取組みに敬意を表したいと思う。新型コロナウイルスの影響で今後も厳しい状況が続くと思うが、継続的な取組みをお願いしたい。			

補足 意見② 開業した業種については、令和元年度については下記のとおりです。
 飲食業 3件、不動産業 1件、小売業（雑貨） 1件、学習塾 1件
 税理士事務所 1件、インターネット販売 1件、就労支援サービス 1件

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について	△	地方創生に非常に効果的であった	△	地方創生に相当程度効果があった
	△	地方創生に効果があった		地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>※ 「地方創生に効果があった」と想定した場合 施策「町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>時代に即した分野ではあるが、町規模で出来ることが限られることや、基本目標の方向性との関連性が低いことから、施策の位置づけを再考することが望ましい。 取り組み自体は、実態が見えづらいものの、KPI の達成状況から前進していると評価できる。</p>			



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	2	地方創生に相当程度効果があった
	5	地方創生に効果があった	0	地方創生に対して効果がなかった
意見①	二宮の地形に適した規模だと、風力、波力とかに限られるような気がする。あとは、住宅用太陽光発電や蓄電池インフラの助成とか…			
意見②	再生エネルギーへの着目は◎。しかしながら地産地消まではかなりハードルが高いのではないかと。この施策は別の項目に移動したほうが良い（がどこに入るかは???）			
意見③	実態がよくわからないが。達成状況から見て、評価は②か③だが、KPIのR1年度4より②にする。			
意見④	合同会社グリーンエネルギー湘南の「二宮みんなの発電所」ができたことは知っているが、それが町内でのエネルギー地産地消につながっているのか実感もなく不明。関連付けができていないのでは。			
意見⑥	再生可能エネルギーの地産地消はコスト面から休止、廃止となっているが町の負担の現状の確認が必要である。			
意見⑦	件数が少なく、増えていないため、地方創生に効果があったとは言い難い。			

各施策における評価及び意見について（令和元年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出

外部評価（二宮町政策評価委員会）案

事業効果について	○	地方創生に非常に効果的であった	地方創生に相当程度効果があった
		地方創生に効果があった	地方創生に対して効果がなかった
意見	<p>施策「身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>施策の目標達成に向けての具体策が乏しく魅力に欠けるため、町内の産業、農業等の動向などを注視したうえで、町の規模にあった必要かつ魅力的な支援策を検討するとともに、選択と集中により事業を効率的に推進する必要がある。</p> <p>また、地域ブランドや合同面接会等の取り組みが見えてこないことが課題であることから、効果的な手法による情報提供を徹底する必要がある。</p>		



委員の個別意見

事業効果について	0	地方創生に非常に効果的であった	0	地方創生に相当程度効果があった
	7	地方創生に効果があった	0	地方創生に対して効果がなかった
意見①	リモートワーカー向けプチ就農機会があれば、今後おもしろそう。			
意見②	そもそも町内に魅力的な働きのあるか否かがカギとなってくるので、町内の求人企業の動向などを注視したうえで検討していく必要があると思われる。 KPIをみていると就業＝就農、にもとれるので気になる。			
意見③	二宮単独では難しい課題である。 オリーブ＝地域ブランドというのが見えてこない。③が妥当。			
意見④	もっと周知を徹底していくべき。にのみやLifeのライフスタイル提案にもつながるのでは。合同面接会など平塚市のHPで情報があつたが二宮から繋がらない。HPからの効果的なリンクなど対応できないか。			
意見⑤	二宮町で雇用創出をするという重要な基本目標に対しての具体的政策とその実行力が弱いと思われる。（基本目標の政策の優先順位は行政の長の意志であり、行政部門への指示であり人事評価基準となるはずである。またそれに伴う予算の配分である。一評価委員として優先順位の評価はできないが）二宮町の持っている資源・湘南二宮オリーブ・二宮ブランド事業・遊休荒廃農地を活用して農商工連携での産業創出などの大目標とその具体的なアクションプランが必要と思われる。そのような目標設定なしの各論の実践は成果が出にくく非効率だと思われる。			
意見⑥	事業の数が少なく魅力に欠ける。地方創生とまでいかない。			
意見⑦	就農・地産地消応援プロジェクトについては、「選択と集中」により、効率的に取り組むとともに、その成果を見える化し、効果的に発信していくことが重要であると考えている。			

評価システムに対する意見

外部評価（二宮町政策評価委員会）

意見	<p>【全体について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価の根幹となるため、基本目標と施策の適合性は重要である。 ・昨年度に対する評価となるため、評価するタイミングに違和感がある。迅速な評価と反映を望む。 ・施策の細部までは町民が分からない。 ・仕組みを構築・維持し、外部意見も参考にし施策の見直しに反映させることは意義がある。 <p>【評価手法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートベースでは評価がしづらい。 ・短時間でも、担当者等の意見を聴く機会があると良い。 ・事業によって成果の出る年度にバラつきが生じるため、単年度の評価ではなく、事業の流れを把握しつつ、全体の中で評価できるようにしてほしい。 ・短時間で膨大な量を読み評価するのは困難。 ・施策と紐づけられた事業の関係性が分かりづらい。 ・財政面が分からないため、優先度（予算配分）や有効性が判断できない。 <p>【評価項目について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目に「地方創生に対してあまり効果がなかった」の選択肢をいれるべき。 ・達成度を示すべき。ホームページにも表示するべき。 ・複数の項目を連携させて評価することもできるのではないかな。 <p>【KPI等の目標値について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定性的・定量的な目標値では、メリット、デメリットがあるため、設定にはバランスが重要である。 <p>【政策評価委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膨大な量の資料の読み込み等、委員の負担があるため、委員のあり方について検討する必要がある。
----	--



委員の個別意見

意見①	<p>レポートベースの報告と、それに対する評価づけは難しい。短時間でも各テーマの当事者や担当部署の方から現場の思いも含めた発表が聞けた方が、それを受けて評価しやすいし共感しやすいし、応援しやすい。</p>
意見②	<p>評価をするときに定性・定量評価があるが、それぞれメリットとデメリットがあり、結局はバランス、ということになる。つまり「完璧な評価システムの構築は不可能」というところからスタートするしかないように思うが、「基本目標・施策」と評価項目、の適合性は気にしていきたいところ。</p> <p>評価の連携可能性があるのではないかな？→例「女性の創業支援」×「子育て環境の充実」</p> <p>その他、個別のKPIについては、評価シートのそれぞれの項目欄に示したとおり。</p>
意見③	<p>申し訳ないことだが、私は二宮町総合戦略、また評価シートに書かれている内容を意見が言えるほど十分に理解していない。</p> <p>短い時間で膨大な資料を読み、意見を言い評価をするというのは無理がある。評価委員会そのものの在り方を考えていただきたい。</p>
意見④	<p>昨年の評価の中にもあったが、この評価と反映の時期に違和感を覚えた。評価委員の評価は一昨年の実績に対する評価であり、ずいぶん昔の印象。変化の速い今の時代、迅速な振り返り、評価をし、即座に今の施政に活かさないのか。また、今年は特に対面で意見・情報交換ができずに難しかったのかもしれないが、各項目に紐づけられる事業が分かりにくいので改善されるといい。さらに事業は分析・計画・準備…と数年かけて進めていくものだと思う。結果として形に現れた年はわかりやすいですが、そうでない年にその年度だけを切り取っても理解・評価しづらいため「項目に該当する事業の流れを把握したうえで、数年かけた計画の中で現時点どこまで進んだのか」がわかると評価しやすい。</p>

意見⑤	<p>評価コメントの中にも述べたが、政策の優先順位は行政の長の意志であり、町の経営方針の優先順位である。それに伴う予算の配分である。それに基づく部門への指示であり、その達成度、貢献度が人事評価基準となるはずである。予算配分が提示されていないこともあり、評価委員として優先順位の評価はできない。優先順位の評価は求められていないと思う。そんな条件下での政策評価に何が求められるかを確認したい。</p>
意見⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・「地方創生に対してあまり効果がなかった」という選択肢も入れるべき。「地方創生に効果があった」という選択肢は「地方創生にある程度効果があった」も含まれるし、「地方創生に効果がなかったわけではない」も含まれる。 ・達成度（％）のような形で示すようにすべきで、かつ、それを町のホームページに示し、定期的に更新し、町民に見えるようにすべきである。現状の評価システムは、「やってないわけではない」という言い訳には使えるが、どれだけの効果が上がっているのかは見えない。
意見⑦	<p>住民として日頃から町の個別の施策に触れるような機会がない中であって、施策の細部まで実感して評価することにはなかなか難しいところもあるが、このような仕組みを構築・維持し、執行機関としての町以外の外部の評価も参考にしながら施策の見直しに反映させていることは、非常に意義のあることであると考えます。</p>